

1. 布佐排水区の整備事業(令和8年6月現在)

◆ 事業概要

布佐駅東側地区では、放流先である手賀川水位に影響し、一部の地盤低地部において、長年に渡り常襲的な浸水被害が発生しています。このことから、5年確率降雨に対応する雨水排水施設(ポンプ場・雨水幹線)を整備し、浸水被害の軽減を目指しています。

平成26年度に布佐ポンプ場が完成し、それまでの暫定ポンプ場の能力と比較して約10倍の能力になりました。今後は雨水幹線と主要な枝線の整備を進めていきます。(H29から着手)。

排水区面積:204.32ha	事業期間:平成13年度~令和11年度(予定)
ポンプ排水能力:8.4m ³ /秒※	総事業費:約72億円

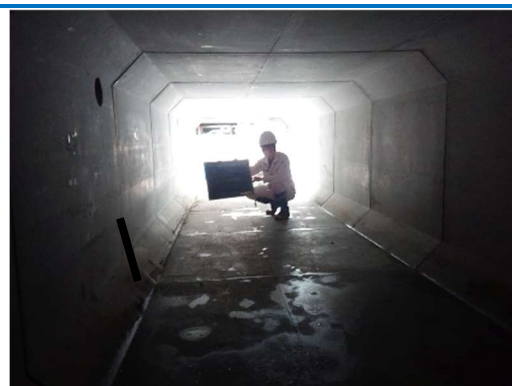
※現時点での排水能力。最終計画は11.850m³/秒。



布佐排水区整備事業の概要図



布佐ポンプ場



雨水幹線(ボックスカルバート)布設状況

◆ 令和8年度の実施内容

雨水幹線整備工事(7工区) 延長約 198m (令和7~8年度継続事業)

枝線3整備工事 延長約 27m (令和8年度事業)

布佐ポンプ修正設計業務委託 (令和8年度事業)